

エコアクション21



Eco-Conscious

(株)ひまわり 環境活動レポート

2011

取り組み期間
(2010年9月～2011年8月)

【目次】

1	環境方針	3
2	会社概要	4
3	エコアクション実施体制	5
4	環境目標とその実績 (次年度の取り組みとその他の目標)	6
5	主要な環境活動の内容	7
6	環境活動の取り組み結果の評価	8
7	その他の取り組み	1 1
8	漏洩事故緊急訓練	1 2
9	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	1 2
1 0	許可の内容	1 2
1 1	施設等の状況（収集運搬業）	1 4
1 2	処理工程図	1 4
1 3	廃棄物処理料金	1 5
1 4	受託した産業廃棄物の処理量	1 7
1 5	全体評価と見直し結果	1 7

(株)ひまわり 環境活動レポート

1 (株)ひまわり環境方針

【基本理念】

事業活動から生ずる、環境への種々の影響を低減することが、社会的責任の一つと認識し、「環境にやさしい企業」の実現に向け社員一人ひとりが連携し環境問題に積極的に取り組んでまいります。さらに、環境への対応を経営の重大テーマとしてとらえ、バイオディーゼル燃料等、資源の有効活用や廃棄物のリサイクルにも努め、地域に信頼され、地域とともに共生できる企業として、人と暮らしにやさしい脱温暖化社会をめざし、新たな道を切り開いてまいります。

【行動指針】

1. 事業活動、サービスに関わる環境関連法規、規則、協定などの遵守に努め、環境の保全と向上を図ります。また、エコアクション2.1の要求事項に準拠した規定類を制定し運用します。
2. 事業活動から生じる環境負荷物質、二酸化炭素・廃棄物等を、当社の処理設備・リサイクル施設を通じて、社会の環境リスク低減に努めるとともに、新エネルギー（バイオディーゼル燃料、太陽光発電等）の利用を推進し、地球温暖化防止、廃棄物の削減と再利用化、再資源化に貢献します。
3. 環境負荷の継続的な低減および環境経営を推進するために、環境目標および環境活動計画を設定し、環境経営システムを構築します。また定期的に環境目標および環境活動計画を見直し、必要に応じて改訂を行います。
4. 調達・購買活動では「グリーン購入」を心がけ、リサイクル製品、省エネタイプ機器の導入など、環境負荷の少ない資機材の優先購入、エコマーク製品の積極購入を推進します。
5. 環境方針は、社内に掲示し、全従業員に周知徹底します。また外部からの要求に応じて開示します

2010年9月1日改訂
2005年9月1日制定
株式会社 ひまわり

代表取締役

佐藤 博

2 会社概要

(1) 事業所名及び代表者名

代表取締役 株式会社ひまわり
佐藤 博

(2) 所在地 本社

〒962-0001 福島県須賀川市森宿字道久 19 番地 13 号

(3) 法人設立

昭和 52 年 9 月 1 日
(創業昭和 39 年 2 月 1 日)

(4) 事業内容

下水道総合メンテナンス、飲料水貯水槽メンテナンス、
一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、特定建設業、一般建築、
給排水衛生設備工事、浄化槽設置工事・保守点検、ハウスクリーニング、
産業廃棄物処分業（中間処理：移動式脱水）

(5) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理統括責任者 佐藤 博
環境管理責任者 岩崎康夫

(6) 連絡先

事業統括グループマネージャ - 岩崎 康夫
T E L 0248-75-5133
F A X 0248-72-5534
U R L <http://www.himawari-fukushima.co.jp>
E-mail eco@himawari-fukushima.co.jp

(7) 事業規模

資本金 2,500 万円
従業員数 46 人（事務職 7 名、技術職 39 名 2011 年 8 月現在）
敷地面積 10,184.94 m²
建築面積 1,827.47 m²
売上高 519,038,000 円（2011 年 8 月期）

(8) 認証・登録範囲

対象組織 (株)ひまわり全組織
対象活動 (株)ひまわりの事業内容の全活動

発行日 2011 年 9 月

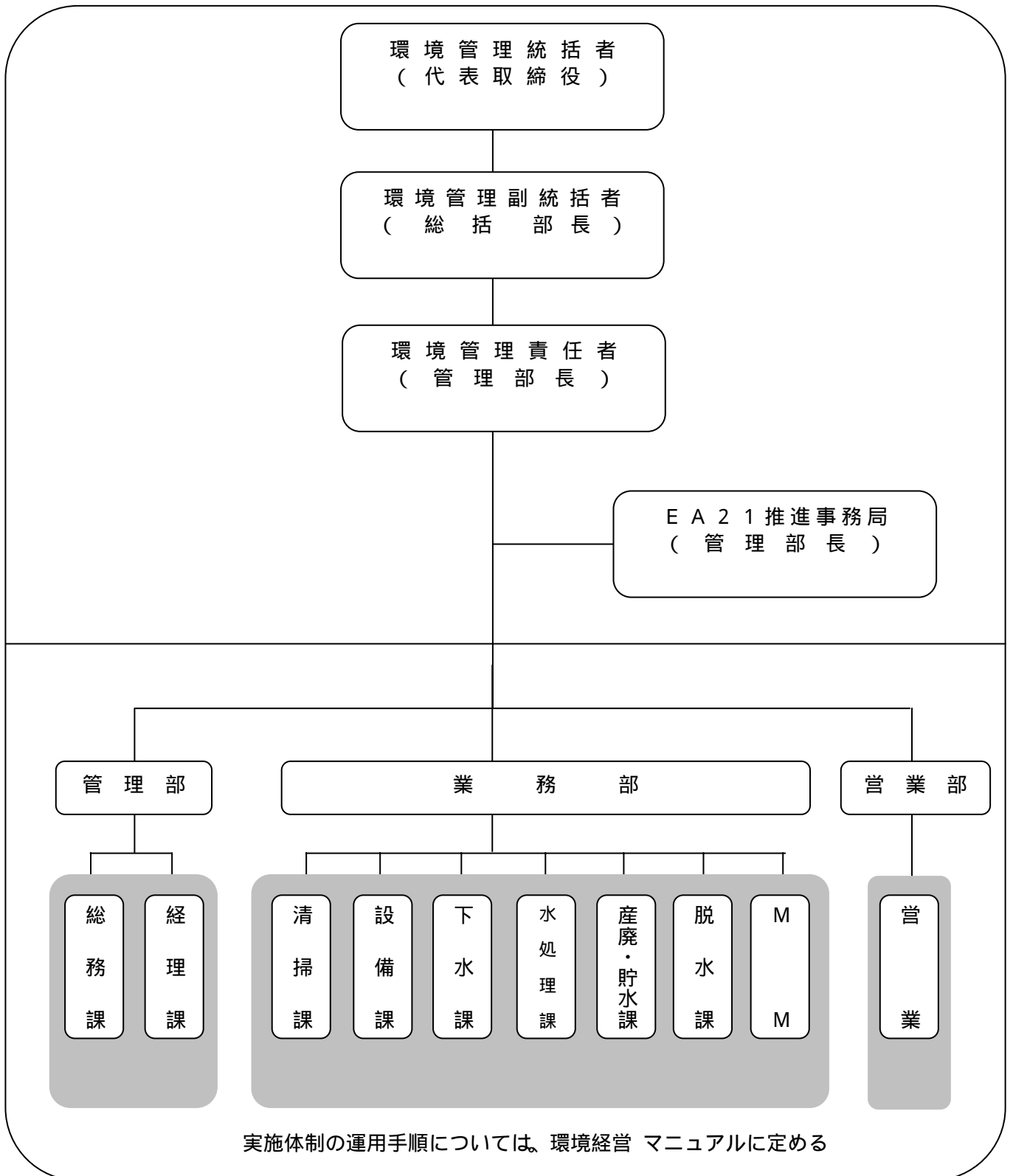
次回発行 2012 年 9 月
(予定)

組織図

エコアクション 2 1 環境活動実施体制

平成 2 3 年 9 月 改 組
平成 2 0 年 9 月 運 用 開 始

環境組織・・・環境マネジメントシステムの確立。維持のために環境組織を設置



実施体制の運用手順については、環境経営 マニュアルに定める

4 環境目標とその実績

(1) 目標の達成状況

二酸化炭素総排出量抑制

平成22年度末までに平成19年度を基準に二酸化炭素排出量3%削減 単位トン

環境目標	基準値	削減目標値	実績値	達成度
20年度環境目標1%削減	120.0	118.0	130.1	(達成率90%)
21年度環境目標1%削減	118.0	116.8	145.0	(達成率80.5%)
22年度環境目標1%削減	116.8	115.6	150.0	(達成率77.0%)

達成度評価： = 100%以上達成 = 90~99%達成 = 70~89%達成 × = 69%以下
(平成14年度調整後排出係数使用0.378を使用。今後は今年度で長期計画が終了する為、新規実排出係数を使用する。)

水使用量(節水)

平成22年度末までに平成19年度を基準に水使用量1%削減 単位m³

環境目標	基準値	目標値	実績値	達成度
20年度環境目標0.3%削減	1,086	1,054	1,149	(達成率91%)
21年度環境目標0.3%削減	1,054	1,023	1,193	(達成率85.7%)
22年度環境目標0.3%削減	1,023	993	1,250	(達成率79%)

達成度評価： = 100%以上達成 = 90~99%達成 = 70~89%達成 × = 69%以下

廃棄物排出量抑制

平成22年度末までに平成19年度を基準に廃棄物排出量1%削減 単位トン

環境目標	基準値	目標値	実績値	達成度
20年度環境目標3%削減	0.73	0.72	0.50	
21年度環境目標4%削減	0.72	0.71	0.38	
22年度環境目標3%削減	0.71	0.70	0.32	

達成度評価： = 100%以上達成 = 90~99%達成 = 70~89%達成 × = 69%以下

産業廃棄物(汚泥)477トンが活動内容に入っていない理由は受託業務の為自らの活動では統制できないためです。尚、全て再資源化し循環させています。

受託有機汚泥及び再資源化の推進

平成22年度末までに平成19年度を基準に受託有機汚泥及び再資源化量の推進 単位m³

環境目標	基準値	目標値	実績値	達成度
20年度環境目標3%増	3,880	3,996	4,125	
21年度環境目標3%増	3,986	4,105	3,674	(達成率89.5%)
22年度環境目標4%増	4,105	4,269	3,071	(達成率71.9%)

達成度評価： = 100%以上達成 = 90~99%達成 = 70~89%達成 × = 69%以下

環境活動計画の次年度取り組み

二酸化炭素排出量抑制（具体的行動・数値及びチェック体制は環境活動計画表に記載）

バイオ燃料の利用

太陽光発電システムの維持管理

雨水の利用

ペレットストーブの活用

電気自動車の活用

廃棄物抑制（具体的行動・数値及びチェック体制は環境活動計画表に記載）

紙資源の再使用

受託有機汚泥の再資源化（放射性物質の取り扱いによる）

水使用量の抑制（具体的行動・数値及びチェック体制は環境活動計画表に記載）

雨水の業務への利用

グリーンマーク・エコマーク品購入の実践（具体的行動・数値及びチェック体制は環境活動計画表に記載）

その他の取り組み

環境美化・小中学生・地域住民の視察受け入れ。須賀川市菜の花プロジェクトの積極的参加。

除染業務の技術取得及び除染作業。

その他の目標

化学物質適正管理の推進

燃料製造上使用量は変更できないため、保管庫を法令に準じ制作しもの適正管理に努めます。

グリーン購入の推進

今年度グリーン購入調達率68%となりました。次年度以降も調達率の更なる向上を目指します。

5 主要な環境活動計画の内容

二酸化炭素排出量抑制

バイオ燃料を積極的に使用

一般市民からの廃食油回収運動も順調に継続している。回収量も順調で安定した廃食油の回収が実施された（2010年度回収量 11,628 ㍓）。また、三春町が進める市民からの廃食油回収運動に於いて、今年度も協力要請があり、当社も回収作業で参画しました。又、今年度も田村市からの要請で、ごみ回収作業車両へのバイオ燃料供給を継続しました。

太陽光発電システム維持管理

50kw 発電システムの維持管理を適正に行う為、パネル清掃、及び年次点検を実施し、発電システムの稼働率が低下しないよう維持管理に努めました。

その他

- ・化石燃料削減を目的に 100%電気自動車を購入しました。又、ディーゼル車両も 1 台増車しバイオ燃料使用量のアップを計りました
- ・冷房の温度は 28 度、暖房の温度は 20 度を適正としました。

廃棄物排出量抑制（リサイクルに関する取り組み）

事務所からの排出物は須賀川市のごみの分別に従い、再資源化率の向上を目指しました。

コピー機器（用紙）使用に関しては次の方針とし、コピー機横に掲示しました。

- 「両面印刷の徹底」「裏面発生の用紙は内部文書に使用」「必要枚数確認」また、Fax は、画面上で内容確認後、プリントアウトが必要な者だけを選択できるようなシステムを変更しました。

新聞紙・ダンボール・鉄くず等、再資源化に努めました。

受託有機汚泥の再資源化（堆肥化）を 100%実施しました。今後も積極的に取り組みます。

水使用量（節水への取り組み）

雨水の業務への利用

今年度も下水管洗浄及び洗車に雨水を積極的に利用しました。利用実績は 1,250 m³で計画達成率 90%でした。

グリーンマーク・エコマーク品購入の実践

今年度もグリーンマーク・エコマークが表示されているカタログを購買担当者に配布し、購入を指示しました。調達率は、グリーン購入適合品 68%となりました。次年度以降、調達率の向上を目指します。

その他への取り組み（環境美化等への取り組み）

敷地に接している道路（公道敷）の草刈り作業 4 回・ゴミ回収を年 1 回実施しました。

環境目標の担当部署及び責任者

目標事項	担当部署	責任者
二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量	管理部門	岩崎 康夫
環境法令遵守、自主管理値遵守	管理部門	岩崎 康夫
管理部門におけるリサイクル等の推進	業務部門	水野 章一
グリーンマーク・エコマーク購入の推進	管理部門	関根 孝子

6 環境活動の取り組み結果の評価

(2010年9月～2011年8月)

1) 二酸化炭素排出量の抑制について

化石燃料使用量削減の為、電気自動車を購入しました。又、バイオ燃料利用促進のため、ディーゼルエンジン車両1台増車しました。

【電気自動車】



【ディーゼル車】



【一般市民からの廃食用油回収運動継続実施、今年度回収実績 11,628ℓ】

【回収のぼり】



【回収ボックス】



平成 23 年 8 月 31 日現在で、303,115kWh を発電、二酸化炭素換算で 97,603kg を削減。今後も監視モニター等で性能を維持し、二酸化炭素削減に努めます。
(排出源単位 2009 年度 東北電力発表 0.322kg - co₂/kwh)

【社屋に設置した 327 枚の発電パネル (50kWh)】



【発電システム監視モニ】



2) 廃棄物排出量抑制 (受託有機汚泥の再資源化に関する取り組み)

【移動脱水作業車両】



【有機汚泥の脱水作業を推進し、脱水ケーキ全ての再資源化 (コンポスト肥料) をはかりました】



【脱水ケーキ搬入風景】

3) 水使用量 (節水への取り組み)

当該年度計画に対し 90% の達成率でした。

雨水利用実績が 1,250m³ で、洗車・下水管高圧洗浄・浄化槽設置の際の水張り等で使用しました。

【雨水貯水タンク】



【洗浄車への雨水給水】



7 その他の取り組み

東日本大震災に起因する放射性物質で汚染された市街地・学校等の除染作業

【放射性物質高圧除染作業】



【表土除去除染作業】



今年度も視察受け入れを実施、環境講座を開催しました。

【小学生見学】



小学生は、「環境を大切にする資源の利用」と題し、廃食油からバイオ燃料への転換再利用など学習しました。又、太陽光発電・雨水再利用なども学習しました。

【地域住民見学】



一般市民は地域で根付いた廃食油回収運動が、どのように再生され、再利用されるのかを学習しました。



省エネの為、緑のカーテンを栽培しました。



8 漏洩事故緊急訓練

緊急漏洩防止訓練を実施しました。訓練内容は、汚染物質が漏洩しものと設定。汚染物質の洗浄後、敷地外に流失するのを防ぐために汚染物質の吸引など実施しました。



9 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。更に、自社で遵守状況をチェックした結果、問題はありませんでした。また、地域社会等からの苦情等による指摘もありませんでした。

10 許可の内容

	許可番号(県・市・町)	許可年月日	許可有効年月日	事業計画の概要	事業範囲(事業区分・廃棄物種類)
1	第1号(須賀川市)	H22.04.01	H24.03.31	一般廃棄物収集運搬(屎尿)	屎尿収集運搬
2	(天栄村)第1号	H22.04.01	H24.03.31	一般廃棄物収集運搬(屎尿)	同上
3	第9号(須賀川市)	H22.04.01	H24.03.31	一般廃棄物(事業系ごみ)収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	事業系ごみ収集運搬(積み替え保管行為含む)
4	第00712008995号(福島県)	H20.9.24	H25.09.23	産業廃棄物収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	収集運搬(積み替え行為を含み、保管行為を含まない)汚泥 収集運搬(積み替え保管を含まない) ~
5	第0900008995号(栃木県)	H20.01.19	H25.01.18	産業廃棄物収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	汚泥の収集運搬積み替え保管行為を含まない 営業区域は、宇都宮市の区域を除く 特別産業廃棄物を除く

6	第 8702008995 号(郡山市)	H20.09.24	H25.09.23	産業廃棄物収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	収集運搬積み替え保管行為を含まない ~
7	第 9400008995 号(いわき市)	H20.01.19	H25.01.18	産業廃棄物収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	汚泥(積み替え保管を含まない)
8	中振 P 第 3 3 号(福島県)	H15.07.10		移動式汚泥脱水の設置許可 駐機場 須賀川市森宿字道久 19 - 13 (設置許可)	汚泥(特別管理産業廃棄物を除く)郡山市・いわき市を除く県南一円 (設置許可)
9	第 0720008995 号(福島県)	H20.09.29	H25.09.28	移動式汚泥の脱水施設	汚泥(特別管理産業廃棄物を除く)
10	郡 p 第 2 3 号(郡山市)	H17.07.13		移動式汚泥脱水施設 (設置許可)	汚泥(特別産業廃棄物を除く)郡山一円 (設置許可)
11	第 8 7 2 0 0 0 8 9 9 5 号(郡山市)	H22.12.21	H27.12.20	産業廃棄物汚泥	汚泥の中間処理(移動式脱水)特別管理産業廃棄物を除く
12	19 西環許可第 9 号(西部環境衛生組合 南会津町館岩総合支所・伊南総合支所)	H23.04.01	H24.03.31	農業集落排水施設より排出される脱水汚泥ケーキの収集運搬	古町浄化センター 高杖原浄化センター
13	中振一般 P 第 4 号(福島県中振興局)	H18.10.24		一般廃棄物の移動式脱水施設 (設置許可)	農業集落排水施設の汚泥(須賀川市内農業集落排水施設内) (設置許可)
14	い廃 P 第 21 号(いわき市)	H20.3.13	=	移動式汚泥脱水施設 (設置許可)	汚泥(特別産業廃棄物を除く)いわき市内一円 (設置許可)
15	第 0 9 4 2 0 0 0 8 9 9 5 号(いわき市)	H20.6.24	H25.6.23	産業廃棄物汚泥	汚泥の中間処理(移動式脱水)特別管理産業廃棄物を除く いわき市内一円
16	第 0 4 0 0 0 0 8 9 9 5 号(宮城県)	H19.12.27	H24.12.26	産業廃棄物収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	積み替え保管行為を除く 石綿含有産業廃棄物を除く ~

廃棄物の種類 汚泥 燃え殻 廃油 廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック 紙くず 木くず
金属くず 動物性残渣 ガラスくず・コンクリートくず がれき類 家畜ふん尿

1 1 施設等の状況（収集運搬業）

運搬車両の種類と台数

- ・ ダンプ車 2 台 ・ 脱着車 2 台 ・ 汚泥吸引車 3 台 ・ バキューム車 9 台
- ・ 軽トラック 2 台 ・ クレーン付きトラック 1 台

積み替え行為施設の面積（福島県許可）

積み替え施設の所在地	福島県須賀川市森宿字道久 19-13
廃棄物の種類	汚泥
積み替え場所の面積	120 m ²

積み替え保管行為を行う施設（須賀川市許可）

保管施設の所在地	福島県須賀川市森宿字道久 19-13
----------	--------------------

保管施設	面積	容積	廃棄物種類
専用保管容器	13 m ²	2m ³	廃食油

施設等の状況（処分業・福島県・郡山市・許可 中一般P第4号・郡P第23号
いわき市・許可 い廃P第21号）

・ 中間処理（移動式脱水）

処理施設の種類	一般廃棄物・産業廃棄物汚泥の移動式脱水
処理能力	40m ³ /日 （8時間）

1 2 処理工程図

* 事前作業

汚泥のサンプリング

ジャーテスト

凝集確認（社内）

* 本作業

汚泥貯留槽

客先設備

ジャーテスト

注入量決定（現場）

脱水車

汚泥計量
供給ポンプ

汚泥返送

脱水分離液

凝集反応槽

高分子凝集剤（カチオン）

高分子凝集剤（アニオン）

比例注入

脱水機

SX-3型

脱水ケーキ

運搬処分

堆肥化

含水率測定

含水率 85%以下

1.3 廃棄物処理料金

収集運搬処理費について（一般廃棄物）

処理料金は月極料金とスポット料金の2種類に大別されます。

月極料金 1ヶ月単位の処理料金

スポット料金 1回単位の処理料金

処理料金の内訳は次の通りです

収集運搬費 運搬車による収集及び処理場まで運ぶのに要する費用

処分費 須賀川地方保健環境組合にて処分するのに要する費用

その他 諸経費

処理料金の決め方

（月極料金の場合）

収集回数、ごみの量、ゴミの質、場所により異なりますので、お客様に御見積もり提出し、話し合いをして決定します。
料金分布は5,000/月～20,000/月です。

内訳別に分けると次のようになります。

収集運搬 収集回数1回当たり、1,500円～3,000円

処分費 100円/kgを基準にして発生量に応じて

その他 諸経費

+ + = 月極料金

（スポット料金の場合） ゴミの質、量に応じてその都度、御見積を無料にてしておりますが、概ね以下の様な料金です。

4トン車1台 40,000円～60,000円

軽自動車 5,000円～30,000円

上記、いずれも消費税別途加算されます。

収集運搬処理費について（一般廃棄物・汲み取り・清掃）

尿管汲み取り料金（消費税別途）

単位円

料金	須賀川市	長沼地区	勢至堂地区	羽鳥地区
180ℓ基本料金	1,550	1,700	2,210	2,550
18ℓ増す毎に	155	170	221	255

30m以上ホース延長は汲み取り料金の30%増し

仮設トイレは1基につき（1,000円増し）羽鳥地区（2,000円増し）

浄化槽清掃料金（須賀川市）

単位円

型式	1m ³ 当たりの料金	消費税	合計
全ばっき式	15,000	750	15,750
分離・分接ばっき式	15,500	775	16,275
腐敗型	16,000	800	16,800
合併抜き取り	16,000	800	16,800

浄化槽容量1m³以下のものは15,750円（消費税含む）となります。

天栄・長沼地区

単位円

型式	1m ³ 当たりの料金	消費税	合計
全ばっき式	16,000	800	16,800
分離・分接ばっき式	16,500	825	17,325
腐敗型	17,000	850	17,850
合併抜き取り	17,000	850	17,850

浄化槽容量1m³以下のものは16,800円（消費税含む）となります。

羽鳥地区

型式	1 m ³ 当たりの料金	消費税	合計
全型	20,500	1,025	21,525

浄化槽容量 1 m³ 以下のものは 21,525 円（消費税含む）となります。

収集運搬処理費について（産業廃棄物）

収集運搬費について（通常運搬）

車種	片道 15km 以内	片道 15km 以上
4 トン汚泥吸引車	20,000 円～	25,000 円～
4 トン脱着車	15,000 円～	20,000 円～

処分費について（消費税別途）

単位円

処分内容	単位	処理料金
汚泥の中間処理（脱水工）	1 m ³	11,000～

性状・距離等で異なりますので、別途料金が発生することがあります。

処分費について・定期年 2 回以上の場合（消費税別途）

単位円

数量	処分内容	処理料金
0.1m ³ 未満	グリストラップ清掃	13,000
0.1～0.3m ³ 未満	グリストラップ清掃	15,000
0.3～0.5m ³ 未満	グリストラップ清掃	20,000
0.5～1.0m ³ 未満	グリストラップ清掃	30,000

1m³以上は別途見積（無料）となります。

処分費について・スポット年 1 回以下の場合（消費税別途）

単位円

数量	処分内容	処理料金
0.1m ³ 未満	グリストラップ清掃	17,000
0.1～0.3m ³ 未満	グリストラップ清掃	19,500
0.3～0.5m ³ 未満	グリストラップ清掃	26,000
0.5～1.0m ³ 未満	グリストラップ清掃	39,000

1m³以上は別途見積（無料）となります。

1 4 受託した産業廃棄物の処理量

平成 21 年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t	
収集運搬	(木くず)			
	(がれき類)			
	汚泥		58	
	廃プラ			
収集運搬量合計			58	
中間処理	(木くず)	(破碎・焼却)		
	(がれき類)	(破碎)		
	汚泥	脱水	3,090	
	汚泥			
	うち 再 資 源 化 等	(木くず)	(焼却(熱回収有り))	
		(がれき類)	(破碎・選別後ボード原料化)	
		汚泥	脱水ケーキ(堆肥化)	477
		汚泥	液状(堆肥化)	57
	再資源化等量小計			535
	中間処理合計			3,090

廃食油は、有価物として(1円~2円/リットル)で買い取り回収しています。

1 5 全体評価と見直し結果

環境目標の達成状況としては、廃棄物排出抑制・水道使用量抑制については計画を上回り目標を達成しました。しかし、二酸化炭素排出抑制・受託有機汚泥の再資源化については目標を達成できませんでした。特に受託有機汚泥の未達成要因として、東日本大震災により、処理場に於いて放射性物質が検出され、有機汚泥の脱水作業が一時停止になり、再資源化への供給が大幅に削減されたためです。

地域貢献としては、本年度も市民・地域小中学生等の施設見学が多数来社され、当社が取り組む環境活動を見学されました。次年度も積極的に視察を受け入れ地域社会に根付いた活動を展開します。

その他、地域における廃食油回収活動も順調に推移し、回収量も安定しています。

次年度の活動に於いては、東日本大震災により発生した様々な問題が、どのような展開に発展するのかを注視しながら、状況に応じた施策を柔軟に展開します。